

令和5年度 第1回入退院時情報共有・連携ルール作業部会議事録

日時：令和5年4月20日(木)

午後3時15分～午後4時15分

場所：社会福社会館 3階会議室

安城市看取り体制の目指す姿

「本人が望む場所で、自分らしく最期まで今を生きる」

1. 手引書（案）承認について 資料①

本日の地域ケア推進会議にて出席者に事務局から手引書案について説明。内容について承認を得られた事を報告。

2. 周知計画・印刷冊数について 資料②③

1) 5月中旬までに庁内印刷を行い、説明会を開催する部会に届ける。

各事業所には手引書完成のお知らせとサルビー見守りネット資料ページへの掲載をFAXにて行う予定。資料の入退院連携の手引き作成のご報告（案）参照。

資料②の説明会開催予定、配布方法、配布数について再確認を行う。

・更生病院

6月看護職代表者会議にて説明 50冊希望。増刷の場合は事務局へ連絡。

・八千代病院

3月に看護部会議にて手引書について報告済み。完成版を50冊希望。

・松井整形外科

資料通り。印刷でき次第説明会を開催予定

・薬剤師会部会

安城更生病院、八千代病院薬剤部長、安城市薬剤師会で説明予定。20冊希望。

手引書のデータを会長に送信

・訪問看護ネットワーク部会 5月の訪問看護ネットワークが対面開催となった。

その時に説明し、配布予定。17冊希望。

・リハビリネット部会

6月の役員会で説明（オンライン開催）データを部会代表に送信。7月1日に周知会で配布。24冊希望。

・ケアマネット部会

5月か6月のケアマネット部会にて説明および配布。30冊希望。

- ・保健福祉部会

5月か6月の包括ネットで説明する予定。包括ネットでは事務局で説明していただけるのか？

後の議題でシナリオについて説明するが、シナリオを参考に説明頂きたいと考えている。包括ネットはオンライン開催であり、事務局が出席可能。5月の包括ネットで説明し、手引書は定期報告時にボックスに入れて配布する。8部希望。

- ・グループホーム部会

6月7日グループホーム部会で説明（さくら庁舎）20部希望。

- ・施設部会

5月23日施設部会にて説明（さくら庁舎）20冊希望。

（ショートステイ利用時に活用する予定）

- ・小規模多機能部会

5月15日小規模多機能部会にて説明（場所確認）5冊希望

以上の内容について資料②を修正し、印刷・配布準備を行う。

2) 資料③説明資料（案）について

各部会の代表者が説明会の際にポイントを伝えられるようシナリオ案を作成した。内容についてご意見を頂きたい。

- ・事務局で説明していただけるのか？

原則部会代表にお願いしたい。研修会に同席であれば調整可能であるため、事務局までご連絡頂きたい。

- ・内容については特段のご意見なし。

3. アンケート（案）について 資料④

1) アンケート作成について

- ・リハネット部会はグーグルフォームでアンケートを作成し、参加者に調査しようと思うが、他の部会はどうか？

- ・訪問看護ネットワークは参加されない事業所があり、そこへの周知について方法を検討する必要があると考えているが、良い方法はないか。

- ・八千代病院はすでに説明会を終えているので、今更という気持ちがある。アンケート内容を見ても、聴取する意味があるのかと思われるがいかがか？

- ・作成して終わりになってはいけないので、感想や活用状況を把握するための材料が欲しいため、アンケートという形にした。以前は開催時の所感を記載いただくよう様式を作成していたが、一貫性がないのであえてアンケートという形にしたというのか経緯である。

協議の結果、開催日、人数、所感（意見・感想・質問内容など）を記載し、研修終了

後事務局に返信いただくこととする。様式は事務局にて作成し、説明会開催までにメールにて部会代表に送信する。

4. 意見交換

1年間作業部会を開催しての意見を各人より頂く。

- ・各職種の動きがフローチャートという形で可視化できてよかった。
- ・所属の部会内で意見交換し、手引書に反映することが出来てよかった。
- ・過去作成した様式も周知や活用が進まなかった。こうして可視化できたのはよかった。今後も制度改正などに応じて改定できるとよい。
- ・他市町村のマニュアルを見ても、薬剤情報の掲載は少ない。今回手引書に追加頂いたことはよかった。今後の活用について取り組んでいきたい。
- ・リハビリテーション部会としての所感は、こうした作成物は作って終わりになることが多い。どう活用するかがポイントだが、退院前カンファレンスの基準でリハビリにどのような内容が期待さ入れているのか、情報提供する内容など検討したいし、エチケットの部分は新人研修に使うなど方法を考えていきたいと思う。
- ・在院日数の短縮も進んでいる中、入退院業務を簡潔にまとめられてよかった。
- ・院内退院支援看護師の教育に活用したい。意思決定支援においてはわたしノートの活用もあわせて進めていきたい。
- ・院内の看護師に各職種の役割について伝える際に活用できる。
- ・地域包括支援センターで予防プランを立てている患者の情報提供様式について、今回の作業部会を通じて包括内で議論し、共通認識を持つことができたのはよかった。
- ・施設だと多職種連携について経験する機会が少ない。(ショートステイ中のかかわりに限定されるため) 今後は地域に開かれた施設になれるよう手引きを活用していきたい。
- ・連携時のエチケットを抑えながら多職種と関わるができるよう活用していきたい。
- ・立場や職種の違う専門職が集まり、意見交換ができたことはよかった。それぞれの考え方や立場の違いがあり統一は難しいけれど、連携は必要だと感じた。作って終わりではなく、更新を考える必要があると思う。

5. 事務連絡

手引きの印刷終了後、各部会代表による説明会を実施し、事務局で作成した報告書をメールにて送信するので記載の上、提出していただく。